

「誰ひとり取り残さない」共生社会をめざして

八代市では、全ての人の人権が尊重され、共に支え合い、共に生きることができる「共生社会」の実現をめざしています。新年度、私たちの心にある「無意識の思い込み」について一緒に考えてみませんか。

— 今月のテーマ —

アンコンシャスバイアス

～その「当たり前」、実は思い込みかもしれません～

アンコンシャスバイアスとは？

日本語では「無意識の思い込み」と訳されます。自分では気づいていない、ものの見方や捉え方の「偏り」のことです。悪意がなくても、相手を傷つけたり、個人の可能性を狭めてしまうことがあります。

日常生活のなかで

- 「家事や育児は女性がするもの」という固定観念
- 「男性は仕事をして家計を支えてこそ一人前だ」という重圧
- 「食事の代金は男性が払うのが当然だ」という思い込み
- 「女性は感情的になりやすい」といった決めつけ
- 「男性は結婚して家庭を持って一人前だ」という固定観念

職場のなかで

- 「女性だから」という理由で特定の業務を割り振る
- 「若手だから経験がない」と意見を聞かずに判断する
- 印象的な成果のみで能力を過大評価する

アンコンシャスバイアスへの対処

1 気づこうとする

自分の言動を振り返り、「これって私のアンコン？」と自問自答してみる。

2 多様な意見を取り入れる

「当たり前」を疑い、自分とは異なる視点や意見を積極的に聞く。

3 学びを深める

チームや家庭でこのテーマについて話し合い、理解を共有する。

ひとりで悩まず、まずはご相談ください

人権相談窓口専用電話

30-1710

【相談日時】 月曜～金曜（9:00 - 17:00）

※祝祭日・年末年始を除きます

※水曜日は相談員不在となります

毎月11日は『人権を確かめあう日』です

